SONY

4-650-832-**01** (1)

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ノートブックコンピューター

PCG-F79

Microsoft® Windows® 2000 Professional 搭載モデル

i™ S400

© 2000 Sony Corporation

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5〜11ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

技術基準適合認定について

このノートブックコンピュータは、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-9224

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）
*充電されたバッテリ使用時には、無停電電源装置等は不要です。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合のDVD-ROMドライブが搭載されています。

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。

目次

⚠警告・⚠危険・⚠注意 5
付属品を確かめる 12
こんなことができます 14
各部のなまえ 16

準備する

電源を入れる 22
Windows 2000を準備する 25
電源を切る 29
カスタマー登録する／
インターネットに接続する 30

基本的な使いかた

タッチパッドを使う 38
キーボードを使う 40
キーボードショートカット
..... 43

マニュアルの使いかた

マニュアルの使いかた 48
オンラインマニュアルを
見るには 49
ヘルプを見るには 50

困ったときは

トラブルを解決するには 52
主なトラブルとその解決方法 53
「Q&A Search」を使って
トラブルを解決する 66

その他

メモリを増設する 68
リカバリCDで本機を
再セットアップする 73
パーティションサイズを変更する
..... 77
使用上のご注意 79
お手入れ 83
保証書とアフターサービス 83
主な仕様 85
付属ソフトウェアについて 88
索引 95

⚠警告

火災　感電

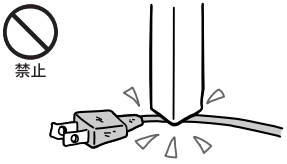
下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理をご依頼ください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店にご依頼ください。
- メモリを増設するときは、「メモリを増設する」(68ページ)に従って注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。
  指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

次のページにつづく

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

ひざの上で長時間使用しない

本機は日本国内専用です

本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
海外などでモデムを使用すると、故障・火災・感電の原因となることがあります。

モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。
特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、
健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間続けて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、
感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

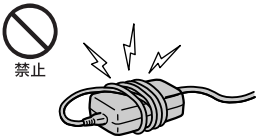
電源コードや接続ケーブルを接続するときは、
本機や接続する機器の電源を切り、ACアダプタや
電源コードをコンセントから抜いてください。
感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続
ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となる
ことがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

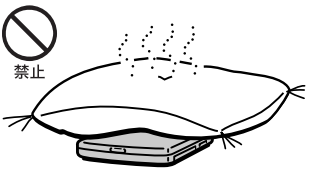
断線や故障の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や
故障の原因となることがあります。風通しを
よくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の
  上に放置しない。
- 布などでくるまない。



通電中の本体やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、
低温やけどの原因となることがあります。

本体やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

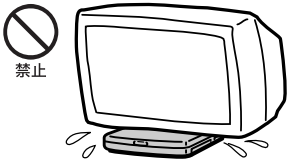
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

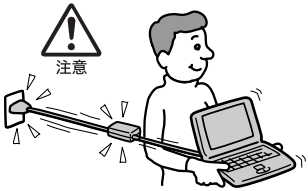


お手入れの際は、電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。



コネクタはきちんと接続する

- コネクタの内部に金属片を入れないでください、ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

次のページにつづく

⚠注意 **下記の注意事項を守らないと<u>けが</u>をしたり周辺の<u>物品</u>に<u>損害</u>を与えたりすることがあります。**

落雷のおそれがあるときは、電源プラグなどを抜く

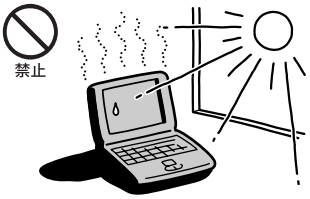
落雷のおそれがあるときは、テレホンコードや電源プラグを抜いてください。落雷により本機が破壊され、故障の原因となることがあります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

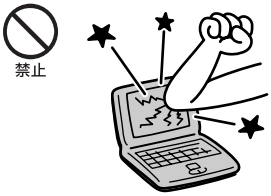
直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。
- 本体付属または別売りのバッテリ以外は使用しないでください。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱してますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本体やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または購入された販売店に修理をご依頼ください。

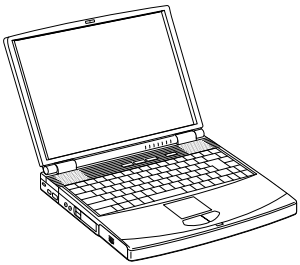
付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。

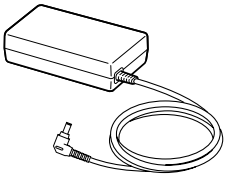
❑マークにチェックしながら確認すると便利です。

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIO(バイオ)カスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。

❑パソコン本体（1）

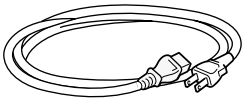


❑ACアダプタ（1）

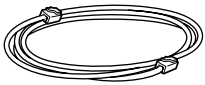


❑バッテリ（1）

❑電源コード（1）



❑テレホンコード（1）



説明書およびCD-ROM

- ❑ 取扱説明書（本書、1）
- ❑ はじめてのインターネット！(1)
- ❑「OpenMG Jukebox」インストールCD-ROM及び取扱説明書（1）
- ❑「Microsoft® Windows® 2000 Professional*」クイックスタートガイド（1）
- ❑ リカバリ CD-ROM パッケージ（1）
- ❑「Office 2000 Personalプレインストール パッケージ（1）

ご注意

Microsoft Office 2000 Personalを初めて使うときは、いずれかのソフトウェアを起動すると「Microsoft Office 2000 ユーザー情報」画面が表示されますので、付属のOffice 2000 Personalプレインストール パッケージのCD-ROMケースに貼られているCDキーを入力します。

* 以降、Windows 2000と略します。

その他

- ❑ VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）
- ❑ VAIOサービス・サポートのご案内（1）
- ❑ VAIOカルテ（1）
- ❑ ソフトウェア使用許諾契約書（1）
- ❑ その他パンフレット類

本機に付属のソフトウェアについては、「付属のソフトウェアについて」(88ページ)をご覧ください。

こんなことができます

本機は大型液晶ディスプレイを搭載し、デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーなどのAV機器と組み合わせて使うことを想定した、ソニーならではのノートブックコンピュータです。
また、携帯電話やPHSとつないで、外出先でもインターネットに接続して情報収集したり、電子メールで情報交換できます。
ここでは、本機を使ってできることの例をご紹介します。

使用状況に応じて動作速度が自動的に切り替わる

ACアダプタに接続して使用しているときは、CPUのスピードを上げて本機の動作の速度を速くすることができます。
バッテリを装着して使用するときは、CPUのスピードを下げてバッテリ駆動時間を長持ちさせます。

i.LINKを使って画像を取り込む

本機のi.LINK（アイリンク）コネクタにつないだ、i.LINK（アイトリプルイー）（IEEE1394）インターフェイスを持つデジタルビデオカメラレコーダーなどから、デジタル信号のままで美しい動画や静止画を取り込めます。

i.LINKとは？

i.LINKは、i.LINKコネクタを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。i.LINKについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「i.LINKとは？」をご覧ください。

“ メモリースティック ”を使って画像を取り込む

“ メモリースティック ”対応のソニーデジタルビデオカメラレコーダーやデジタルスチルカメラで撮影した画像を“ メモリースティック ”に取り込み、別売りのメモリースティック用PCカードアダプタを使って、本機のPCカードスロットに挿入してデータを取り込みます。

取り込んだ画像を自由自在に活用する

デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーから取り込んだ画像は、付属の「PictureGear（ピクチャーギア）」ソフトウェアで簡単に管理できます。
付属の「Adobe PhotoDeluxe（アドビ フォト デラックス）」ソフトウェアを使えば、取り込んだ画像にタイトルを入れたり、特殊効果をかけたりできます。
本機で作成した画像をデジタルビデオカメラレコーダーで録画することもできるなど、取り込んだ画像を思いのままに活用できます。

AV再生を楽しむ

付属の「Media Bar（メディア バー）」ソフトウェアを使って、音楽CDやビデオCDなどを再生できます。

プログラマブルパワーキーでワンアクション機能を実現する

付属の「VAIO Action Setup（バイオ アクション セットアップ）」ソフトウェアを使うことで、プログラマブルパワーキーを押しただけで好みのソフトウェアを起動したり、自動的に電子メールを受信するよう設定できます。
便利な機能を割り当てておくと、とっさのときに便利です。

VAIO間でファイルを共有する

「Smart Connect（スマート コネクト）」に対応したVAIOと本機を別売りのi.LINKケーブルで接続し、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。

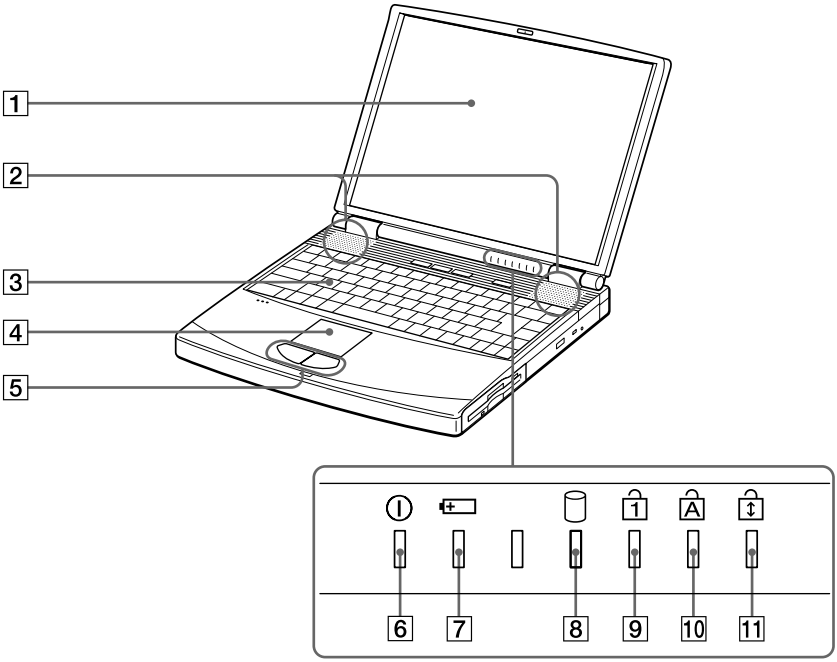
バッテリを上手に使う

付属の「PowerPanel（パワー パネル）」ソフトウェアや「BatteryScope（バッテリー スコープ）」ソフトウェアを使って、処理速度やバッテリでの使用時間を優先する動作環境に設定したり、バッテリの残量などを簡単に把握することができます。

これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿って一通りに準備を完了しておく必要があります。「準備する」（21ページから）の説明に従って、本機の準備を行ってください。
また、それぞれの操作について詳しくは、本機または各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください（48ページ）。

各部のなまえ

詳しい説明は、（ ）内のページをご覧ください。



1 **液晶ディスプレイ**
（57、79ページ）

2 **内蔵スピーカー**（65ページ）

3 **キーボード**（40、57ページ）

4 **タッチパッド**（38、58ページ）

5 **左／右ボタン**（38ページ）

6 ⏻ **（パワー）ランプ**（23ページ）

7 **（バッテリ）ランプ**

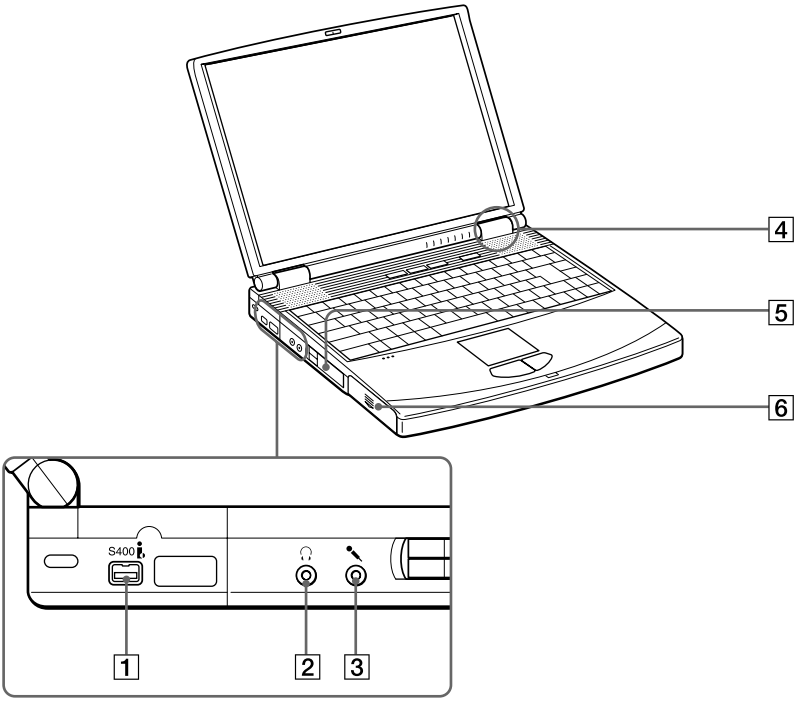
8 **（ハードディスク）ランプ**

9 (Num Lock) **ランプ**
（42、56、57ページ）

10 (Caps Lock) **ランプ**
（57ページ）

11 (Scroll Lock) **ランプ**

本機左側面



1 S400 (i.LINK) **コネクタ** (14**ページ**)

2 **(ヘッドホン) コネクタ** (65**ページ**)

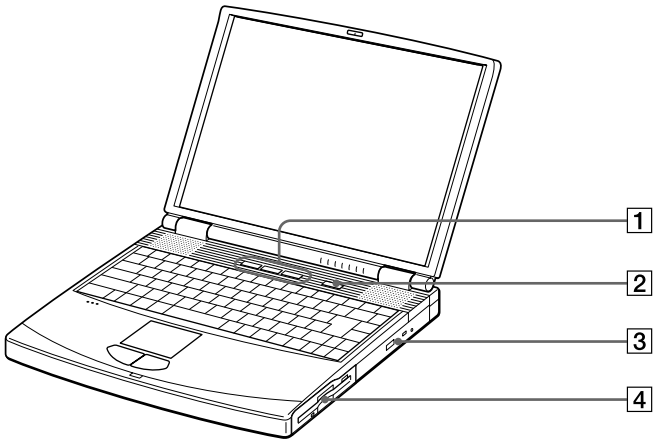
3 **(マイク) コネクタ**

4 **IDラベル** (52、84**ページ**)
型名が記載されています。

5 **PCカードスロット**

6 **バッテリベイ** (22**ページ**)

本機右側面



1 **プログラマブルパワーキー**

2 ⏻ **(パワー) ボタン** (23**ページ**)

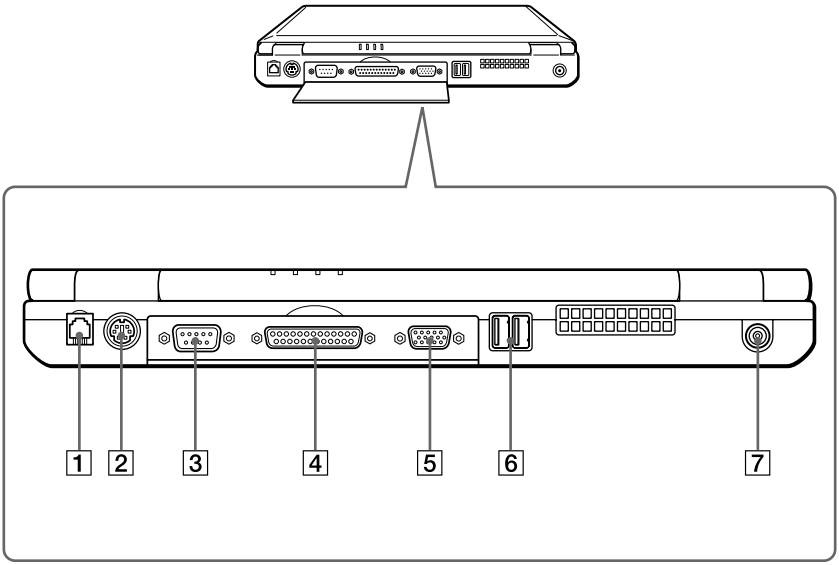
3 DVD-ROM**ドライブ**

4 **フロッピーディスクドライブ** (59**ページ**)

ご注意

本機底面のリリースレバーの操作により フロッピーディスクドライブは取り はずすことができますが、異物等が 入り故障の原因となりますので、装着 したままでご使用ください。

本機後面



1 **モジュラジャック**
(31、62**ページ**)

2 MOUSE/KEYBOARD**コネクタ**

3 SERIAL**コネクタ**

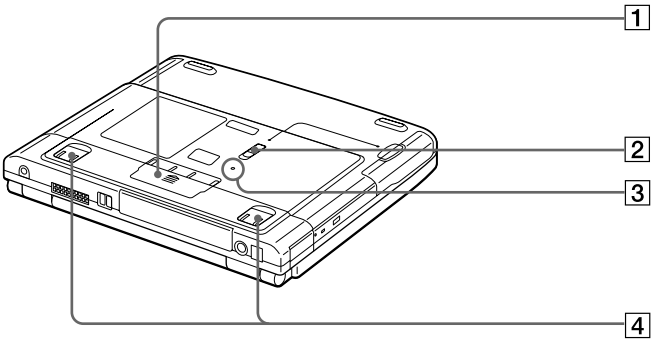
4 PRINTER**コネクタ**

5 MONITOR**コネクタ**

6 USB**コネクタ**

7 DC IN**コネクタ** (22**ページ**)

本機底面



1 **ポートリプリケーター用コネクタカバー**

2 RELEASE**レバー**

3 **リセットスイッチ**（54**ページ**）

4 **チルトスタンド**

準備する

電源を入れる

以下の手順に従って、本機の電源を入れてください。

1 バッテリを取り付ける。

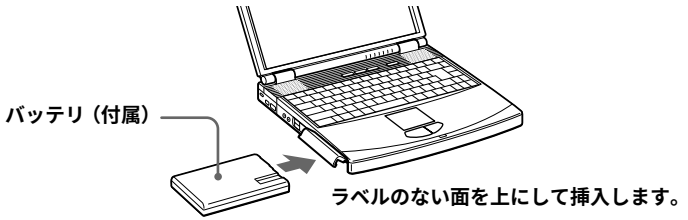
停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。

① バッテリベイのふたを開ける。

② バッテリを挿入する。

③ バッテリベイのふたを閉じる。

カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。



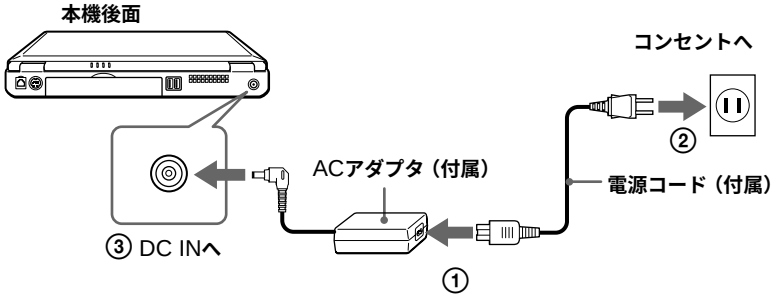
2 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

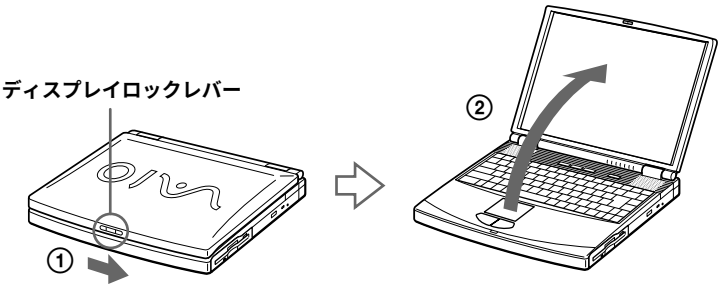
② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

③ ACアダプタのプラグを、本機後面のDC INに差し込む。



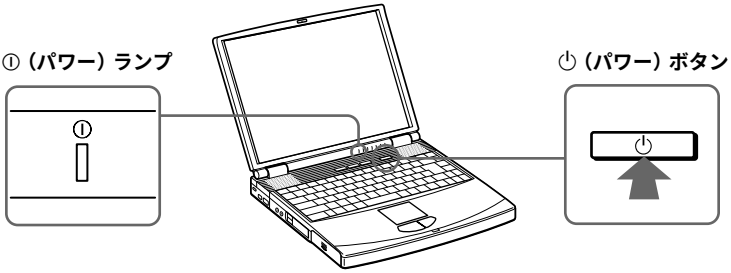
3 ディスプレイパネルを開く。

① ディスプレイロックレバーを矢印の方向にずらす。
② ディスプレイパネルを開く。



4 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏽（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

キーボード右上の ⏻（パワー）ボタンを押します。
電源が入ると、⏽（パワー）ランプが点灯します。



次のページにつづく

Microsoft Windows 2000 Professionalのロゴの画面が表示され、しばらくして「Windows 2000 セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されます。
「Windows 2000を準備する」（25ページ）の手順に従って、Windows 2000のセットアップを行ってください。

ご注意

⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が切れてしまいます。
①（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、ACアダプタでご使用中に30分以上操作しないと、自動的に本機のディスプレイ画面が暗くなります。タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。

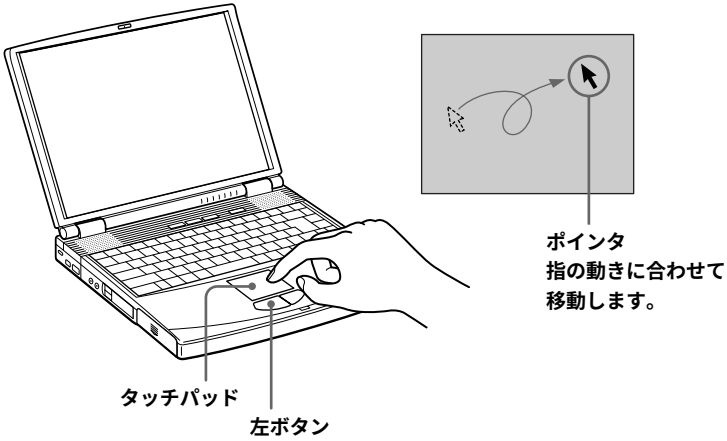
Windows 2000を準備する

本機を使う前に、Windows 2000を使うための準備が必要です。Windows 2000が使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。以下の手順に従って、Windows 2000を使う準備をします。

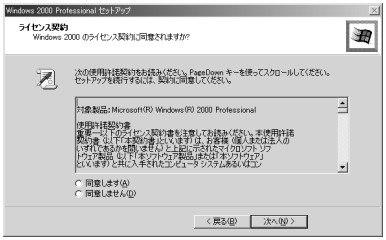
- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、以下の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては、「電源を入れる」（22ページ）の手順1をご覧ください。
- 「基本的な使い方」（38ページ）では、タッチパッドやキーボードの使い方について説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

1 「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面が表示されたら（24ページ）、［次へ］をクリックする。

タッチパッドに触れて指を動かし、［次へ(N) >］の上までポインタを移動し、左ボタンをカチッと1回押してすぐに離します。
これを「クリックする」と言います。



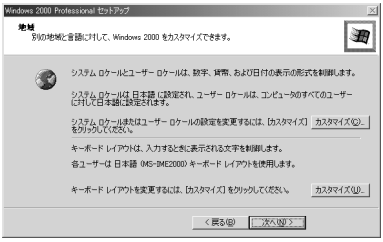
「ライセンス契約」画面が表示されます。



次のページにつづく

2 **表示された内容を読み、内容に同意するときは［同意します］の◯をクリックして◉にし、［次へ］をクリックする。**

「地域」画面が表示されます。



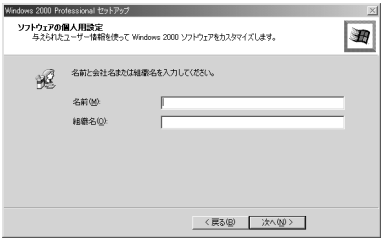
ご注意

［同意しません］の◯をクリックすると、Windows 2000の準備作業は中止され、Windows 2000と本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。

3 **［次へ］をクリックする。**

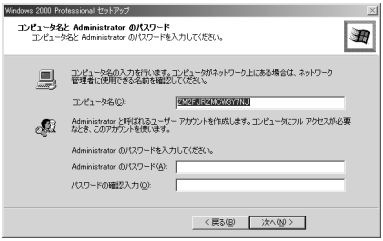
設定を変更したい場合は［カスタマイズ］をクリックして設定し直し、［次へ］をクリックします。

「ソフトウェアの個人用設定」画面が表示されます。



4 **名前と、必要ならば組織名を入力し、［次へ］をクリックする。**

「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面が表示されます。



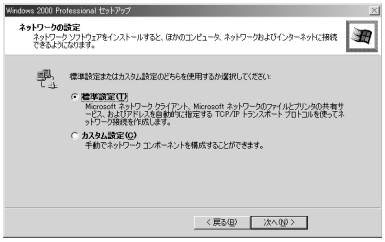
5 **Administratorのパスワードを入力し、必要ならばコンピュータ名を変更して［次へ］をクリックする。**

「日付と時刻の設定」画面が表示されます。

Administratorは、ハードウェアやソフトウェアの設定を変更できる管理者権限（Administrators）のある、あらかじめ用意されたユーザー名です。
セキュリティ確保のためにパスワードを設定しておくことをおすすめします。
また、パスワードは忘れないよう充分ご注意ください。

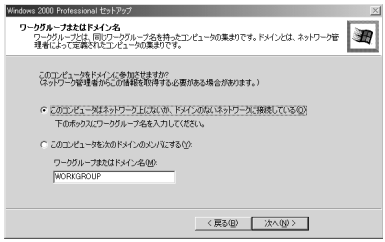
6 **日付と時刻およびタイムゾーンを確認し、［次へ］をクリックする。**

「ネットワークの設定」画面が表示されます。



7 **ネットワークの設定方法を選び、［次へ］をクリックする。**

「ワークグループまたはドメイン名」画面が表示されます。



次のページにつづく

8 **ネットワーク環境に合わせて設定し、［次へ］をクリックする。**

自動的に設定が行われ、「Windows 2000 セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されます。

9 **［完了］をクリックする。**

本機が自動的に再起動し、「ネットワーク識別ウィザード」が表示されます。

10 **［次へ］をクリックする。**

「このコンピュータのユーザー」画面が表示されます。

11 **ログオン時のオプションを選択し、［次へ］をクリックする。**

「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面が表示されます。

「常に次のユーザーがこのコンピュータにログオンすると仮定する」を選択した場合、表示されるユーザー名は管理者権限（Administrators）のあるユーザーです。

セキュリティ確保のためにパスワードを設定しておくことをおすすめします。また、パスワードは忘れないよう充分ご注意ください。

12 **［完了］をクリックする。**

これでWindows 2000が使えるようになりました。

ご注意

本機に付属のOS（Operating System）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

電源を切る

以下の手順に従って、本機の電源を切ります。

ご注意

必ず下記の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1 [スタート] ボタンをクリックし、スタートメニューの [シャットダウン] をクリックする。

「Windowsのシャットダウン」の画面が表示されます。

2 をクリックして、一覧の中から「シャットダウン」を選び、[OK] をクリックする。

「Windowsをシャットダウンしています」が表示されてからしばらくすると、本機の電源が自動的に切れ、① (パワー) ランプ (グリーン) が消灯します。

これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。引き続きいろいろな操作をするためには、本機オンラインマニュアルをご覧ください (49ページ)。

カスタマー登録する／インターネットに接続する

ここでは、本機を電話回線につなぎ、オンラインカスタマー登録をしてから、インターネット接続サービスにオンラインで入会する手順を説明します。

ご注意

オンラインカスタマー登録は、管理者権限（Administrators）のユーザのみ行うことができます。

インターネット接続サービスとは

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。インターネット接続サービスはインターネットとパソコンとの間を仲介する役割を持っており、インターネット接続サービスを提供する会社と契約すると、インターネットを使っていろいろな情報を記述したホームページを簡単に見たり、電子メールを送受信したりできるようになります。

カスタマー登録をすると、正規のユーザーとして登録され、登録カスタマー専用の各種アップグレードサービスなどが受けられます。サービスの内容については、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
また、本機に付属の保証書（未登録のお客様用）の保証期間はお買い上げ日から3か月ですが、ご登録後にVAIOカスタマー専用デスクから、お買い上げ日より1年間の保証書とVAIOカスタマー登録証をお送りします。
（すでに登録証をお持ちの方へは登録証は送付されません。）保証について詳しくは、「保証書とアフターサービス」（83ページ）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ先
VAIOカスタマー専用デスク　　電話番号：03-3584-6651

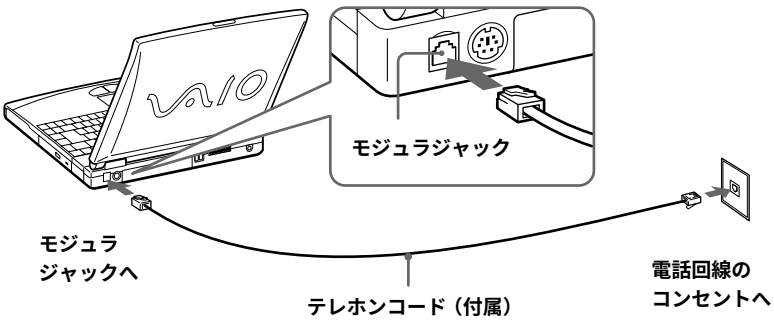
はがきでも登録できます

付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」に記入し投函することによってカスタマー登録することができます。

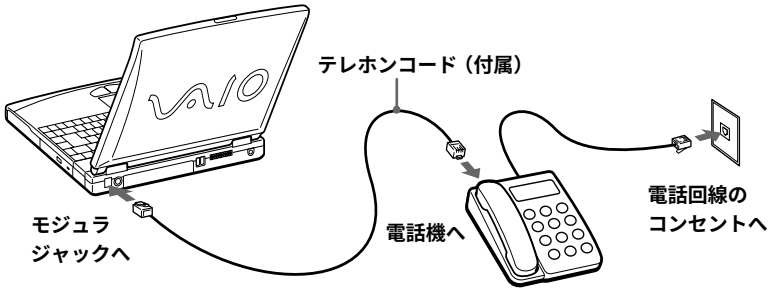
ご登録内容は、ソニーから外部へは一切開示致しません。

1 電話回線につなぐ。

付属のテレホンコードを使って、本機を電話回線に接続します。



モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。



ご注意

- 使用可能な回線は、一般電話回線です。PBX（構内交換機）回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。
- 分配器を使用して電話回線を分岐すると、モデムおよび分岐先の機器が正しく動作しないことがあります。なお、屋内配線の中には分配器経由で各部屋に配線されている場合があります。
- オンラインカスタマー登録は、上記の手順1に従って、必ず本機のモジュラジャックを電話回線のコンセントに接続して行ってください。
- ISDN回線をお使いになる場合は、本体のモジュラジャックをターミナルアダプタのアナログポートに接続してください。ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）または、ターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

- 電話回線への接続について詳しくは、本機オンラインマニュアルの「内蔵モデムを電話回線につなぐ」をご覧ください。
- 電話回線のコンセントの形状が付属のテレホンコードにあわないときは交換工事や取り付け工事が必要な場合があります。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「内蔵モデムを電話回線につなぐ」の「電話回線のコンセントの種類」をご覧ください。
- テレホンコードは、「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。

次のページにつづく

2 本機の電源を入れる。

管理者権限（Administrators）のユーザー名とパスワードを入力してログオンしてください。

3 画面上の［Welcome!］ボタンをクリックする。

ここをクリックする。

「Welcome」の画面が表示されます。

カスタマー登録をしない、または後でするときは

［キャンセル］をクリックします。

［キャンセル］をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージ画面が表示されます。［終了］をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」の画面が表示されます。その後の手順について詳しくは、34ページの手順6をご覧ください。

［継続］をクリックすると、元の画面に戻ります。

4 [次へ] をクリックする。

VAIOオンラインカスタマー登録の画面が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

1つ前の画面が見たいときは

[戻る] をクリックします。

この画面が表示されたときは

お使いの電話回線のダイヤル方法を確認し、発信方法を選びます。

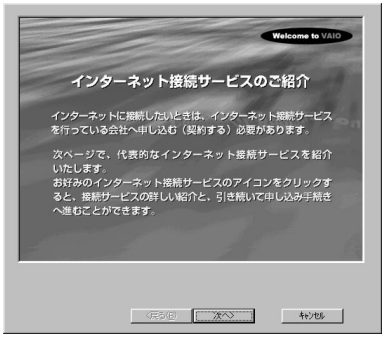
お使いの電話回線のダイヤル方法を選ぶ。

- トーン式ダイヤルとは
  電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは
  ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方式です。

次のページにつづく

5 [登録] をクリックする。

「インターネット接続サービスのご紹介」の画面が表示されます。



入会手続きをしない、または後でするときは

[キャンセル] をクリックします。

6 [次へ] をクリックする。

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。

7 お好みのインターネット接続サービスのアイコンをクリックする。

インターネット接続サービスに入会する手続きを開始します。
画面の指示に従って操作してください。

一部のインターネット接続サービスでは、オンラインカスタマー登録をしてから入会手続きを行うと、同じユーザー情報を何度も入力する手間が省けます。
オンラインカスタマー登録をしなくても、インターネット接続サービスへの入会手続きをすることはできます。

お好みのインターネット接続サービスのアイコンをクリックする。

インターネット接続を手動で設定する、またはLAN（ネットワーク）を使って接続するときは

画面右下の［こちらへ］をクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面が表示されるので、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

入会手続きをしない、または後でするときは

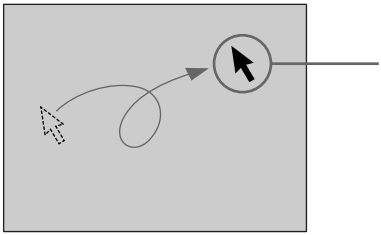
画面右上の ✕ をクリックします。

入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。
インターネットについてさらに詳しくは、別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

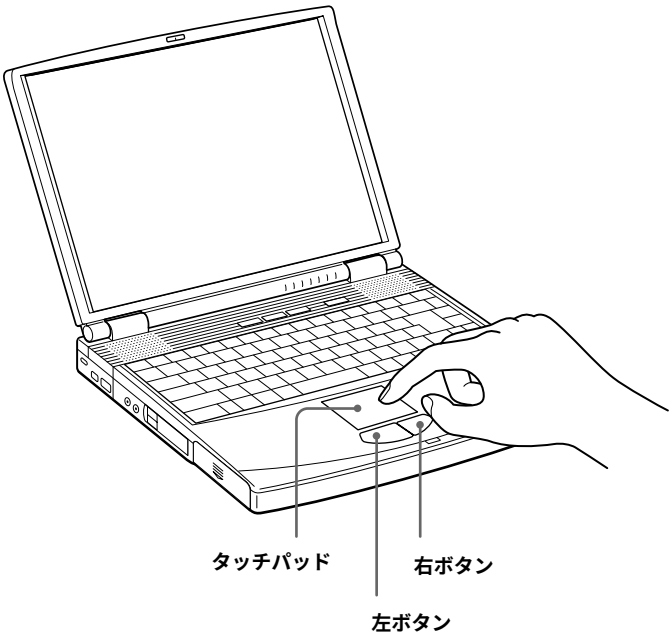
基本的な使いかた

タッチパッドを使う

タッチパッドに触れて指を動かすと、画面上のポインタも同じ方向に移動します。



ポインタを目的の位置まで動かして左または右のボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。



クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、タッチパッドの手前にある左ボタンを1回押します。［OK］や［キャンセル］などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。
また、タッチパッドを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。
またタッチパッドを、2回続けて軽くたたいても同じ働きをします。

ドラッグする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、タッチパッド上で指を動かし、希望の位置でボタンを離します。ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。
また、タッチパッドを2回続けて軽くたたき、そのままタッチパッド上で指を動かして希望の位置で離しても同じ働きをします。

ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときなどに使います。

右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

スクロールする

指をタッチパッド上の右端に合わせて、上下に動かします。選択されているウィンドウ上の垂直方向のスクロールバーを移動できます。
指をタッチパッドの右上または右下に置いたままにして、上方向または下方向にスクロールし続けることができます。
また、指をタッチパッドの下端に合わせて、左右に動かします。選択されているウィンドウ上の水平方向のスクロールバーを移動できます。

上記は工場出荷時の設定です。設定を変更したり、タッチパッドをより便利に使うには、本機オンラインマニュアルの「タッチパッドを便利に使う」をご覧ください。

キーボードを使う

キーボードを使って文字や記号を入力したり、パソコンへ命令を送ることができます。ここでは、他のキーと組み合わせて使う、特殊なキーのなまえと機能を紹介します。

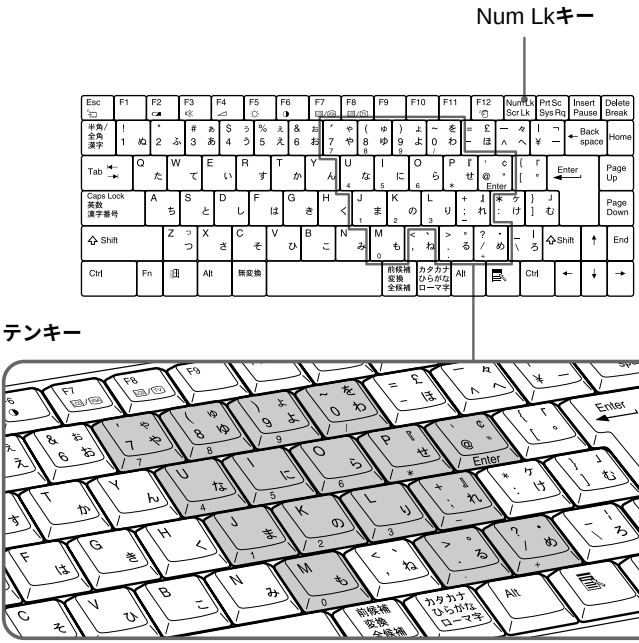
なまえ	機能
ファンクションキー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。
Ctrl（コントロール）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくはソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。 例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。

なまえ	機能
Alt（オルト）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくはソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Shift（シフト）キー	文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。
Windows（ウィンドウズ）キー	Windows 2000の「スタート」メニューが表示されます。他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくはソフトウェアのオンラインマニュアルおよび「Windowsキーとの主な組み合わせと機能」（43ページ）をご覧ください。
アプリケーションキー	タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。
Fn（エフエヌ）キー	キーボード上で紫色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。ファンクションキーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。 詳しくは、「Fnキーとの主な組み合わせと機能」（44ページ）をご覧ください。
Esc（エスケープ）キー	設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。
Num Lk（ナムロック）キー	テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、1(Num Lock）ランプが点灯します。もう1度Num Lkキーを押すと、消灯します。詳しくは、「Num Lkキーの機能」（42ページ）をご覧ください。
PrtSc（プリントスクリーン）キー	表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。

Num Lkキーの機能

Num Lkキーを押し、液晶ディスプレイ下の 1 (Num Lock) ランプが点灯しているときにテンキーを押すと、キー前面左側に印字されている数字を入力できます。

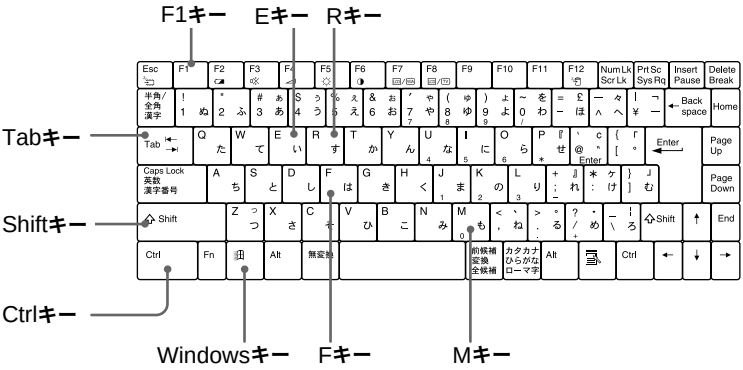
例： Uキーを押すと「4」が入力されます。



キーボードショートカット

メニューを開かなくても、キーボードから各種コマンドを実行できます。

Windowsキーとの主な組み合わせと機能



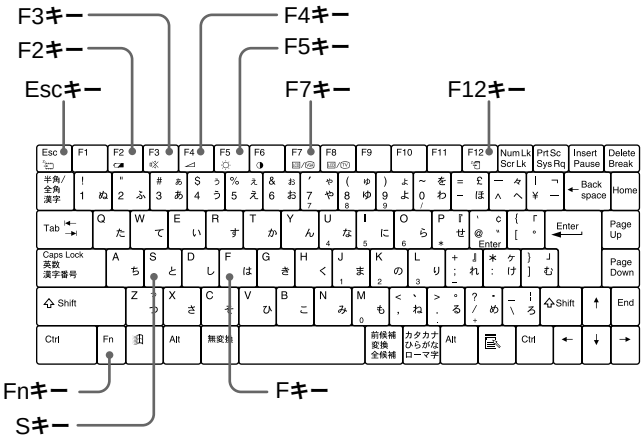
キー操作の表記

例： ⊞ +F ➡ Windowsキーを押しながらFキーを押す。

組み合わせ	機能
⊞ +F1	Windowsのヘルプを表示します。
⊞ +Tab	タスクバーに表示されているボタンの選択を切り替えます。
⊞ +E	エクスプローラ*を表示します。
⊞ +F	「ファイルやフォルダ」の「検索」ウィンドウを表示します。［スタート］メニューから［検索］の［ファイルやフォルダ］を選んだときと同じです。
⊞ +Ctrl+F	「ほかのコンピュータ」の「検索」ウィンドウを表示します。［スタート］メニューから［検索］の［ほかのコンピュータ］を選んだときと同じです。
⊞ +M	表示されているすべてのウィンドウを最小化します。
Shift+ ⊞ +M	最小化されているすべてのウィンドウをもとのサイズに戻します。
⊞ +R	「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを表示します。［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行...］を選んだときと同じです。

* コンピュータの内容（ファイルやフォルダ）をツリー図で表示します。作成したファイルなどがコンピュータのどこに保存されているか、一目で確認できます。

Fnキーとの主な組み合わせと機能



キー操作の表記

例：Fn + (Esc) ➡ Fnキーを押しながらEsc（エスケープ）キーを押す。

組み合わせ	機能
Fn+ (Esc)	本機の液晶ディスプレイとハードディスクドライブ、CPUへの電源供給を停止して、使用電力を削減します（システム サスペンドモード）。
Fn+ (F2)	使用電源の状況を表示します。 例） Battery 100% **AC電源で使用中** Battery 95% **バッテリを充電中**
Fn+ (F3)	本機の内蔵スピーカーの音声を入／切します。
Fn+ (F4)	本機の内蔵スピーカーの音量が調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量表示が表示されます。↑または→キーを押すと大きくなり、←または↓キーを押すと小さくなります。
Fn+ (F5)	液晶ディスプレイの明るさを調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ表示が表示されます。↑または→キーを押すと明るい画像になり、←または↓キーを押すと暗い画像になります。
Fn+ LCD / VGA (F7)	MONITORコネクタに接続したコンピュータ用ディスプレイと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。液晶ディプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→...

組み合わせ	機能
Fn+ (F12)	本機の液晶ディスプレイとハードディスクドライブだけでなく、CPUやメモリへの電源供給も停止します（システム ハイバネーションモード）。使用環境はハードディスクに書き込まれるので、復帰後もそのまま作業できます。
Fn+F	画面の解像度を液晶パネルの解像度より低くしているとき、液晶ディスプレイの表示を拡大／縮小することができます。
Fn+S	本機の液晶ディスプレイへの電力供給を停止して、使用電力を削減します（システムアイドルモード）。ただし、CPUへの電力供給は停止しないため、システムサスペンドモード（Fn+Esc）よりも早く通常の動作状態に復帰できます。

ご注意

Windows 2000起動後でないと作動しないものがあります。

マニュアルの使いかた

マニュアルの使いかた

本機には、本書のほかに、以下のオンラインマニュアル（PDF*）があらかじめインストールされています。それぞれの目的にあわせてお読みください。
オンラインマニュアルの見かたについては、「オンラインマニュアルを見るには」（49ページ）をご覧ください。
本機に付属のソニー製のソフトウェアには、以下のオンラインマニュアルのほかにヘルプがあります。オンラインマニュアルでは基本操作を、ヘルプではソフトウェアのより詳しい使いかたを説明しています。
ヘルプの見かたについては、「ヘルプを見るには」（50ページ）および、それぞれのソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
また、88ページの「付属ソフトウェアについて」では、本機に付属のソフトウェアについて簡単に説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

本機に付属のオンラインマニュアル

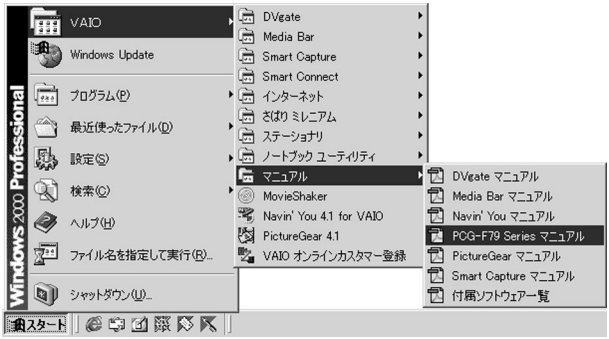
❑ PCG-F79 オンラインマニュアル
　本機の詳しい使いかたを説明しています。
❑ PCG-F79 付属ソフトウェア一覧
　本機に付属のソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先などを説明しています。本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアについて」（88ページ）もあわせてご覧ください。
❑「DVgate」オンラインマニュアル
❑「Media Bar」オンラインマニュアル
❑「MovieShaker」オンラインマニュアル
❑「Navin' You」オンラインマニュアル
❑「PictureGear」オンラインマニュアル
❑「Smart Capture」オンラインマニュアル

*PDF（Portable Document Format）のファイルです。

オンラインマニュアルを見るには

オンラインマニュアルを見るには、本機の電源が入っている状態で、次のように操作します。

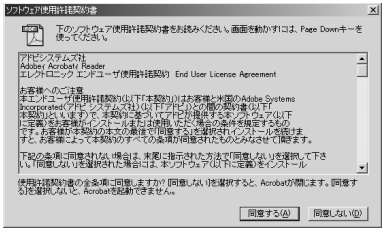
1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［マニュアル］を選び、見たいオンラインマニュアルをクリックする。**



本機に付属の「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動し、オンラインマニュアルが表示されます。

「Adobe Acrobat Reader」を初めて起動したときは

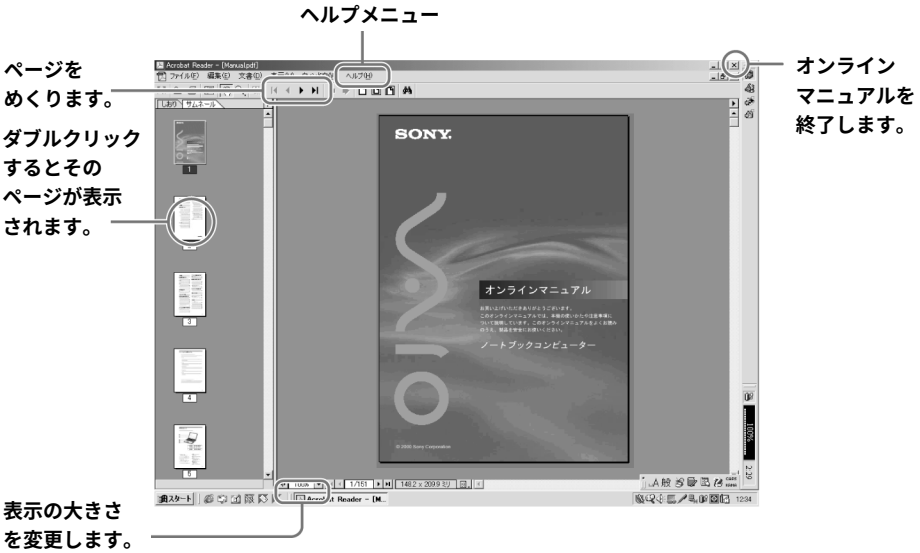
「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、契約書の内容を読み、［同意する］をクリックしてください。



オンラインマニュアルの見かた

サムネール（縮小表示）やしおりを見たいときは、 をクリックし、それぞれのタブをクリックします。

詳しくは、「Adobe Acrobat Reader」のヘルプメニューをクリックしてヘルプをご覧ください。



ヘルプを見るには

ソフトウェアによってヘルプの見かたが異なり、以下の2通りあります。本機の電源が入っている状態で操作します。お使いになるソフトウェアのヘルプの開きかたや使いかたについて詳しくは、「付属ソフトウェア一覧」オンラインマニュアル内各ソフトウェアの「操作が分からなくなったときは」、または各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。

- ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、各ソフトウェアを選び、ヘルプ または をクリックする。
- ソフトウェアを起動し、［ヘルプ］メニューをクリックする。

困ったときは

トラブルを解決するには

トラブルが発生したら、あわてずに下記の流れにしたがってください。また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

「主なトラブルとその解決方法」（53ページ）をチェックする

お使いのコンピュータの症状に合うものがないか確認してください。また、ソフトウェアについてのトラブルは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルまたはヘルプも合わせてご覧ください。Windows 2000の使いかたについては、［スタート］メニューの［ヘルプ］をクリックして、「Windows 2000のヘルプ」をご覧ください。

「Q&A Search」を使う

VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）では、お客様からのお問い合わせが多い質問と回答やQ&A集を掲載しています。詳しくは、「Q&A Searchを使ってトラブルを解決する」（66ページ）をご覧ください。

それでも具合が悪いときは

VAIOカスタマーリンクまたはお買い上げ店にご相談ください。

VAIOカスタマーリンクにお問い合わせいただくときは

付属のVAIOカルテと筆記用具をご用意ください。また、事前に以下のことを確認してください。

- お客様のカスタマーID
- 本機の型名：IDラベル（17ページ）または保証書に記載されています
- 本機に付属していないソフトウェアをインストールした場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン
- 本機に接続している機器
- トラブルの状況と発生時期／頻度
- その他お気づきの点

主なトラブルとその解決方法

ここでは、本機の主なトラブルとその解決方法を説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」(29ページ) の手順に従い、いったん電源を切ってください。
他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

- 電源が入らない／切れない、起動しない (54ページ)
- 液晶ディスプレイ、外部ディスプレイがおかしい (57ページ)
- 文字が入力できない、表示されない (57ページ)
- タッチパッドを使いこなせない、ポインタが動かない (58ページ)
- ハードディスクを初期化してしまった／起動できない (59ページ)
- フロッピーディスクが取り出せない／保存できない (59ページ)
- ディスクが再生できない／音がとぎれる／取り出せない (60ページ)
- DV機器／i.LINK機器が使えない (60ページ)
- プリンタで印刷できない (61ページ)
- PCカードが使えない (61ページ)
- ファンの音が大きい (62ページ)
- 電話やインターネットに接続できない (62ページ)
- スピーカーから音が出ない (65ページ)

電源が入らない／切れない、起動しない

電源が入らない。

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタやバッテリが正しく接続されていることを確認してください。

→ プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合

プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（20ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作などを確認してください。
- デバイスドライバがWindows 2000に適したものであるか確認してください。
- 周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windows 2000は、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

→「電源を切る」（29ページ）の操作をしても、壁紙が表示されたまま動かない場合

1 Ctrlキーと**Alt**キーを押しながら**Delete**キーを押す。

「Windows のセキュリティ」が表示されます。

2［タスク マネージャ］をクリックし、［Windows タスク マネージャ］を表示させ、［アプリケーション］タブをクリックする。

3「応答なし」と表示されているプログラムを選択し、［タスクの終了］をクリックする。

4 再度［スタート］メニューの［シャットダウン］を選び、電源を切る。

それでも電源が切れないときは、もう1度上記手順1を行って「Windows のセキュリティ」を表示させて［シャットダウン］をクリックし、「Windows のシャットダウン」で［シャットダウン］を選んでから［OK］をクリックすると、すべてのプログラムを終了して電源が切れます。

それでも電源が切れないときは、⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして電源を切る。

→ **本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにしても、電源が切れない場合**

クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（20ページ）を押してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

→ **上記の操作を行っても電源が切れない場合は、ACアダプタとバッテリをはずしてください。**

これらの操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。また、本機の電源を入れ直した際、ディスクのチェックが行われます。その場合は、Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」（29ページ）の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」というメッセージが出て、ハードディスクを立ち上げられない。

→ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れると、「Operating system not found」と表示され、Windowsが起動できない。

→ 再起動してもこのメッセージが表示されWindowsが起動しない場合は以下の項目を確認してください。

→ フロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを2回押して本機を再起動する。

→ 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリCDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。
詳しくは、「リカバリCDで本機を再セットアップする」（73ページ）および「パーティションサイズを変更する」（77ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

電源を入れると「System Disable」と表示され、Windowsが起動しない。

→ パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。
本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、①（パワー）ランプが消灯するか確認してください。その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、🄽（Num Lock）や 🄰（Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯してる場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。

電源を入れたあと、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動しない。

→ 内蔵バックアップバッテリが消耗している。
以下の操作を行ってください。

1 電源を入れ、SONYのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering Setup...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。
「Entering Setup...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認する。
間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

①「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。
例：2000年1月31日と設定するには、
1+Enterキー+31+Enterキー+2000+Enterキーの順で入力します。

② ↓キーで［System Time］を選び、時刻を入力する。
例：午後2時35分00秒と設定するには、
14+Enterキー+35+Enterキー+00+Enterキーの順で入力します。

3 Escキーを押す。

4 ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

5「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

6［Exit (Save Changes)］が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。

7「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

液晶ディスプレイ、外部ディスプレイがおかしい

液晶ディスプレイに何も表示されない。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーを何回か押す。詳しくは、「Fnキーとの主な組み合わせと機能」（44ページ）をご覧ください。

液晶ディスプレイが暗い。

→ Fnキーを押しながら、F5キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。詳しくは、「Fnキーとの主な組み合わせと機能」（44ページ）をご覧ください。

外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ ディスプレイの調整つまみで設定する。詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

ウィンドウを最大表示しても、ディスプレイ画面の端に隙間が空く。

→ 自動的に隠すよう設定したアプリケーションバーが、同じ場所に複数存在している可能性があります。PowerPanelツールバーをドラッグして移動させてください。

文字が入力できない、表示されない

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
⍐(Num Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ コントロールパネル内の［システム］アイコンをダブルクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックして、キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

全角の「〜」が入力できない。

→ MS-IMEツールバーで「ひらがな」を選んで、ひらがなで「から」と入力し、「〜」が選ばれるまで、スペースキーを押します。

次のページにつづく

URLで使われる半角の「~」（チルダ）が入力できない。

→ MS-IMEツールバーで「半角英数」または「直接入力」を選び、Shiftキーを押しながら [~ ^] キーを押します。

入力した文字が表示されない。

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない。（ディスプレイ上では薄い色の画面になります。）画面のどこかをクリックするか、Altキーと Tabキーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする。

タッチパッドを使いこなせない、ポインタが動かない

指がタッチパッドに触れただけで、クリックしてしまう。

→ タッチパッドの設定を変更してください。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「タイピング機能を無効にする」をご覧ください。

画面上のポインタが動かない。

→ ⊞ キーを押して［スタート］メニューを表示させ、↑キーを押して［シャットダウン］を選んでEnterキーを押し、↑キーまたは↓キーを押して［シャットダウン］または［再起動］を選びEnterキーを押す。

→ 上記の操作で電源が切れないまたは再起動しない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsのセキュリティ」を表示させ、Sキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［シャットダウン］または［再起動］を選びEnterキーを押す。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切る。

画面上のすべてのものが動かなくなってしまった。

→ CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsのセキュリティ」を表示させ、Sキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［再起動］を選びEnterキーを押して本機を再起動する。

ハードディスクを初期化してしまった／起動できない

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリCDを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは、「リカバリCDで本機を再セットアップする」（73ページ）をご覧ください。

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。

フロッピーディスクが取り出せない／保存できない

フロッピーディスクが取り出せない。

→ 本機オンラインマニュアルの「フロッピーディスクを取り出すには」をご覧ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある別のフロッピーディスクを使って保存し直す。

「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。

「マイコンピュータ」からフロッピーディスクを選んで初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。

→ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにきちんと入っているか確認する。

→「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容が画面で表示されている。画面表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

ディスクが再生できない／音がとぎれる／取り出せない

ディスクが再生できない。

→ ディスクが正しくトレイに置かれているか確認する。

→ ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。（83ページ）

→ 結露が生じている可能性があります。1時間くらい待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。

→ 再生音量を確認する。

ディスクの再生時、音がとぎれる。

→ ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。（83ページ）

→ 再生用のバッファの量を調整する。詳しくは、Windows 2000のヘルプをご覧ください。

ディスクが取り出せない。

→ 本機オンラインマニュアルの「ディスクを取り出すには」をご覧ください。

DV機器／i.LINK機器が使えない

DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ DV機器の電源が入っているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認する。

→ i.LINKでは、複数の機器を接続して動くように設計されていますが、機器との組み合わせによっては、動作が不安定になることがあります。接続されている機器すべての電源をいったん切り、なるべく不要な機器を取りはずして、ケーブルの接続を確認した後、再度電源を入れてください。

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ いったんi.LINKケーブルを抜き、再度接続し直してください。

「DVgate」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください」というメッセージが表示される。

→ DV機器の電源やケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。また、続けて録画を行っていると、機器が正しく接続されていても、録画できなくなる場合があります。その場合、すべてのソフトウェアを終了してから本機を再起動してください。
さらに快適な環境でご使用いただくためには、メモリの増設をおすすめします。

「DVgate」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる。

→ 使用状況によってはフレーム落ちが生じることがあります。
その場合は、メモリの増設をしてください。

プリンタで印刷できない

→ プリンタポートのモード設定を変更する。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「パラレルポートの設定を変更する」をご覧ください。

PCカードが使えない

→ Windows 2000対応でないPCカードは使えないことがあります。

→ 以前使用できたPCカードが使用できなくなった場合は、[コントロールパネル]内の［システム］アイコンをダブルクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックしてから動作しないPCカードのプロパティ画面を表示させ、［ドライバ］タブの［ドライバの更新］をクリックして、ドライバの更新を行ってください。

→ ドライバの更新を行っても使用できない場合は、PCカードの製造元にお問い合わせください。

ファンの音が大きい

→「PowerPanel」の「放熱制御の方法」を「サイレント」に変更する。詳しくは、「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。

電話やインターネットに接続できない

内蔵モデムからダイヤルできない。

→ お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、モデムのダイヤル方法を確認する。（33ページ）

→ 分配器を使わずに、電話回線のコンセントにテレホンコードを直接接続しているか確認する。また、テレホンコードが長すぎないか、電話機の子機に接続していないか確認する。

→ テレホンコードを「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込む。（31ページ）

→ 3分以内に3回以上同じところにダイヤルした場合はリダイヤル規制がかかり、連続してダイヤルすることができません。3分以上時間をおいてからリダイヤルしてください。

→ モデムがWindowsに正しく認識されているか確認します。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［電話とモデムのオプション］をダブルクリックし、［モデム］タブをクリックする。

3［プロパティ］をクリックし、［診断］タブをクリックする。

4［モデムの照会］をクリックする。

コマンドとその応答が表示されたら、モデムは正しく認識されています。

正しく認識されていないときは

次の点を確認してください。

→ COMポートのリソース（IRQなど）が他のデバイスと競合していないか確認します。［コントロールパネル］内の［システム］をダブルクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックして、デバイスのアイコンに「！」がついているものは他のデバイスと競合を起こしています。

モデムはダイヤルしているが、接続できない。

→ うまく接続できないときは、以下の項目を確認してください。

ケーブルの接続を確認する

「発信音が聞こえません」や「ダイヤル先のコンピュータが応答しません」といったメッセージが表示されたときは、テレホンコードの接続を確認します。本体側のモジュラジャックと壁側のモジュラジャックの接続を確認します。予備のコードがあれば、コードを交換して試してみます。

接続速度を遅くしてみる

電話回線の状態がよくないときには、接続速度を遅くするとうまく接続できる場合があります。

1 [スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。

2 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックし、[モデム] タブをクリックする。

3 [Conexant SoftK56 Data,Fax PCI Modem] **を選択し、[プロパティ] をクリックする。**

4 [ポートの最高速度] に遅めの数値 (標準は115200**) を選ぶ。**

5 少しずつ数値を小さくして試す。

ダイヤルトーンを検出しないようにする

ダイヤルトーン（受話器を上げたときの「ツー」という音）の検出に失敗してダイヤルできないときは、ダイヤルトーンを検出しないようにします。

1 [スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。

2 [電話とモデムのオプション] をダブルクリックし、[モデム] タブをクリックする。

3 リストからモデムを選び、[プロパティ] をクリックする。

4 [全般] タブにある「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。

5 [OK] **をクリックする。**
手順3の画面に戻ります。

6 [OK] **をクリックする。**

次のページにつづく

接続中の動作が長く続くとき

接続中の動作が長く続き、接続が完了しないときは、いったん回線を切断してかけ直します。高い通信速度で接続する場合、まれに接続に失敗して、接続確認の動作が終わらなくなることがあります。

ダイヤルアップ接続やプロトコルの設定を確認する

「指定したポートは接続されていません」または、「リモートコンピュータが応答していません」、「ユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした」といったメッセージが表示されるときは、プロバイダやネットワークに接続するための設定を確認します。
設定などに問題がなかった場合は、「ネットワークとダイヤルアップ接続」の［新しい接続の作成］で作り直してください。

ネットワークとダイヤルアップ接続の設定の確認

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［ネットワークとダイヤルアップ接続］をダブルクリックする。

3 接続先のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

4 契約しているプロバイダから提供された資料に従って設定を確認する。

特に次の点を重点的に確認してください。

- ［全般］タブ
  「接続の方法」と「電話番号」の設定
- ［ネットワーク］タブ
  「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の設定と「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使用されます」の「インターネットプロトコル（TCP/IP）」がチェックされていることを確認してください。
  また、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のプロパティを開き、その設定内容も確認してください。

携帯電話を使って接続できない。

→ 所在地情報を確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［電話とモデムのオプション］をダブルクリックする。

3［ダイヤル情報］タブで所在地を選び、［編集］をクリックする。

4［全般］タブの「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」や「999」など実在しない番号を入力する。

インターネットに接続できない。

→ ディスプレイ画面上の［インターネットに接続］アイコンをダブルクリックして設定を確認する。

→ インターネット接続について詳しくは、「カスタマー登録をする／インターネットに接続する」（30ページ）および「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

最高の通信速度で通信できない。

→ 回線が混み合っている場合や回線の品質が悪い場合は、エラーが発生しないよう自動的に通信速度を落とします。

システム ハイバネーションモードに移行できない。

下記の操作を行ってください。

→ モデム通信やプリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。

→ Fnキーを押しながらF12を押してシステム ハイバネーションモードに移行できない場合は、「コントロール パネル」内の［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックして、「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。表示されない場合は、PowerPanelツールバーの をクリックしてください。

→ ［コントロールパネル］内の［電源オプション］をダブルクリックし、［休止状態］タブで「休止状態をサポートする」がチェックされているか確認してください。チェックされていないときは、チェックボックスをクリックしてチェックをつけてください。

スピーカーから音が出ない

スピーカーから音が出ない。

→ 本機の内蔵スピーカーが「切」になっている。Fnキーを押しながら、F3キーを押す。詳しくは、「Fnキーとの主な組み合わせと機能」（44ページ）をご覧ください。

→ 本機の内蔵スピーカーの音量が最小になっている。Fnキーを押しながら、F4キーを押したあと、↑または→キーを押して音量を上げる。
詳しくは、「Fnキーとの主な組み合わせと機能」（44ページ）をご覧ください。

→ ∩コネクタにケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずす。

Fnキーを押しながらF3キーまたはF4キーを押しても、何も表示されない。

→ コントロールパネル内の［システム］アイコンをダブルクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックしてから、サウンドデバイスを使用できるように設定する。

「Q&A Search」を使ってトラブルを解決する

VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）には、「Q&A Search」があり、VAIOに関する質問に対する回答を掲載しています。
「Q&A Search」を使うには、あらかじめインターネットに接続できるよう設定をしておいてください。インターネットへの接続については、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（30ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

1 VAIO**カスタマーリンクのホームページにアクセスする。**

2 ［Q&A Search］**をクリックする。**
「Q&A Search」が表示されます。

3 **検索したい内容を入力し、［検索］をクリックする。**
「検索結果一覧」が表示されます。

4 **読みたい文面をクリックする。**
回答の内容が表示されます。

VAIOカスタマーリンクのホームページでは、VAIOに関する最新情報や修正プログラムなどがあります。困ったら、まず1度ご覧ください。

その他

メモリを増設する

メモリを増設すると、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

ご注意

- コンピュータ内部はとても精密にできています。そのため、メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。破損した場合は有償修理となります。
  メモリ増設に関するご相談やご質問は、販売店またはVAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 別売りのソニー製メモリーモジュールPCGA-MMX64/MMX128以外では、正常に認識されなかったり、Windowsの動作が不安定になるものがあります。別売りのソニー製メモリモジュール以外をお使いになる場合には、販売店またはメモリモジュールの製造メーカーにご相談ください。

メモリモジュールを取り付ける

別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つあり（1つはすでにメモリが内蔵）、最大256 Mバイトまでメモリを増設できます。
メモリモジュールの取りはずしかたについて詳しくは、「メモリモジュールを取りはずす」（71ページ）をご覧ください。

メモリモジュール取り扱い上のご注意

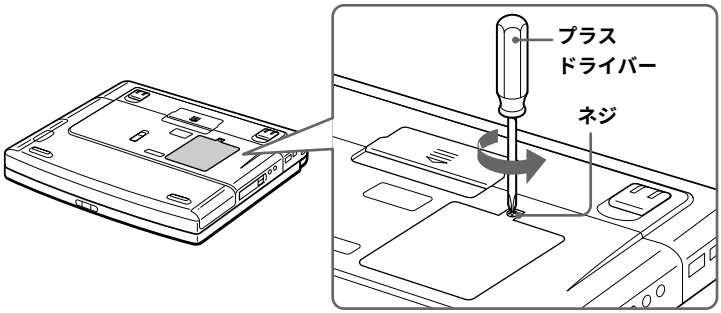
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  ー メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  ー 静電気を体から逃がすため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  ー メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび接続しているすべての機器を取りはずす。

バッテリも取りはずしてください。

2 しばらくしてから本機を裏返し、底面のふたを開ける。

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。電源を切って約1時間ほどおいてから作業を行ってください。



ご注意

ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。

3 メモリモジュールを梱包から取り出す。

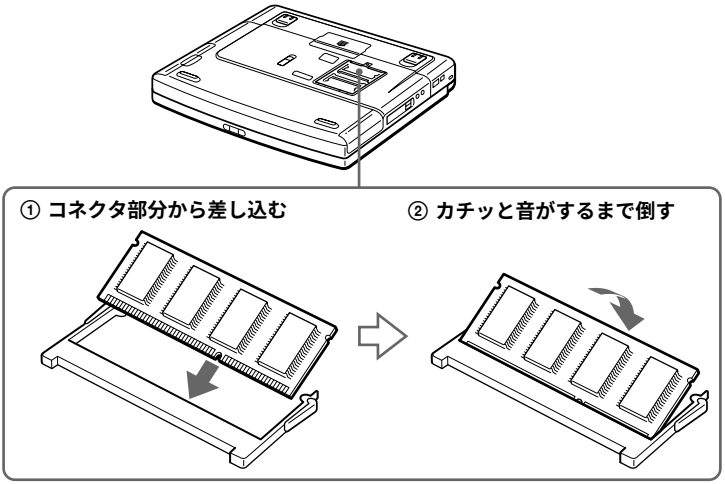
本体の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出します。

次のページにつづく

4 **メモリモジュールを取り付ける。**

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、しっかりと差し込む。

② カチッと音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。



5 **ふたを元に戻す。**

ネジをしっかり締めてください。

メモリモジュールを取りはずす

1 本機と周辺機器の電源を切り、接続しているすべての機器を取りはずす。

バッテリも取りはずしてください。

2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

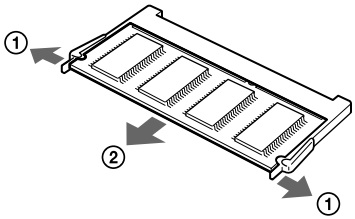
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。電源を切って約1時間ほどおいてから作業を行ってください。

3 メモリモジュールを取りはずす。

本体の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、行ってください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。



4 ふたを元に戻す。

ネジをしっかり締めてください。

メモリの増設を確認する

1 **本機の電源を入れる。**

2 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［ノートブック ユーティリティ］から［Sony Notebook Setup］をクリックする。**

Sony Notebook Setupが起動し、「Sony Notebook Setup」が表示されます。

3 **［システム情報］タブをクリックして、「システム メモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。**

メモリの容量の表示が正しければ、メモリの増設は完了しました。

メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切って、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

リカバリCDで本機を再セットアップする

ここでは、付属のリカバリ CDを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリCDとは

付属のリカバリCDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」2種類あり、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリCDを使って本機を再セットアップすることで、ハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。なお、再セットアップ後に付属のOffice 2000 Personalプレインストールパッケージで、Microsoft® Office 2000 Personalのすべての機能をインストールし直してください。

リカバリCDを使うと、次のことができます

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更する。詳しくは「パーティションサイズを変更する」（77ページ）をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリCDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- リカバリCDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや、作成したデータを復元することはできません。またWindows 2000だけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて初期値に戻ります。再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリCDを使って行ってください。
  また、再セットアップ後に付属のOffice 2000 Personalプレインストールパッケージで、Microsoft® Office 2000 Personalのすべての機能をインストールし直してください。
  上記の操作を行わないと、本機の動作が不安定になる場合があります。

再セットアップする前に

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。リカバリ CDを使って本機を再セットアップすると、C:ドライブにあるファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。
C:ドライブに保存している大切なデータは、再セットアップを行う前に必ずバックアップを取ってください。

保存しているデータは、次の方法で残しておくことができます。

- フロッピーディスクにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、再セットアップを行う。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはフロッピーディスクに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

再セットアップする

すべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを本機に接続してから、作業を行ってください。

1 付属の「システム リカバリCD-ROM vol.1 of 2」をディスクドライブに入れてから、［スタート］ボタンをクリックし、［シャットダウン］をクリックする。

2 「シャットダウン」を選択し、［OK］をクリックする。

3 電源を入れ、SONYのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。

画面左下に「Entering Setup…」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。
「Entering Setup…」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

4 Escキーを押す。

5 ↑または↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

6 「Load default configuration now?」と表示されるので、「YES」を選択して、Enterキーを押す。

7 Enterキーを押す。

8 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「YES」を選択して、Enterキーを押す。
リカバリCDから本機が再起動します。

9 画面の指示に従って操作する。
操作を続けるかどうか表示されたときはYキーを押し、Enterキーを押してください。
画面の指示に従って操作をしていくと、メニュー画面が表示されます。
再セットアップの方法を選び、引き続き画面の指示に従って操作してください。
再セットアップを中止するときは「4」を選び、Enterキーを押します。

10 「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、画面の指示に従って「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから、本機を再起動する。

11 「Windows 2000を準備する」（25ページ）の手順に従って、Windows 2000のセットアップを行う。

12 Windowsのセットアップが終了したら、付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。
自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。
アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わると、メッセージが表示されるので、［OK］をクリックして本機を再起動してください。

次のページにつづく

13 付属のOffice 2000 Personalプレインストール パッケージで、Microsoft® Office 2000 Personalのすべての機能をインストールする。

Office 2000 Personalプレインストール パッケージには、2枚のCD-ROMが付属しています。下記の手順でインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の活用ガイドをご覧ください。

①「Microsoft® Office 2000 Personal」CD-ROMで、Office 2000 personalをインストールする。

「インストールの準備」画面が表示されたら、［カスタマイズ］をクリックしてください。さらに、「機能の選択」画面が表示されたら、「Microsoft Office」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから［マイ コンピュータから全て実行］をクリックしてください。

インストールが終了したら、画面の指示に従って本機を再起動してください。

② 再起動完了後、「Bookshelf® Basic」CD-ROMで、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basicをインストールする。

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（工場出荷時）。付属のリカバリCDを使ってパーティションサイズを変更できます。動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのためデータスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、Windows 2000はC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはフロッピーディスクに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 **「再セットアップする」（74ページ）の手順1〜9を行う。**

2 **メニュー画面が表示されたら、「2.パーティションサイズの変更…」を選び、Enterキーを押す。**
パーティションサイズの選択画面が表示されます。
Escキーを押すと、現在のパーティションサイズを確認できます。

3 **パーティションサイズを選び、Enterキーを押す。**
サイズの変更を中止する場合は、Nキーを押してからEnterキーを押すと手順2の画面に戻ります。

4 **画面の指示に従って操作をする。**
操作を続けるかどうか表示されたときはYキーを押し、Enterキーを押してください。
パーティションサイズが変更され、自動的に本機が再起動します。
再起動後、各ドライブが初期化され、再セットアップが始まります。

次のページにつづく

5 **「システム リカバリ** CD-ROM**」のセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、画面の指示に従って「システム リカバリ** CD-ROM**」を取り出してから、本機を再起動する。**

6 **「**Windows 2000**を準備する」(**25**ページ) の手順に従って、**Windows 2000**のセットアップを行う。**

7 Windows**のセットアップが終了したら、付属の「アプリケーション リカバリ** CD-ROM**」をドライブに入れる。**

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わると、メッセージが表示されるので、［OK］をクリックして本機を再起動してください。

8 **付属の**Office 2000 Personal**プレインストール パッケージで、**Microsoft® Office 2000 Personal**のすべての機能をインストールする。**

Office 2000 Personalプレインストール パッケージには、2枚のCD-ROMが付属しています。下記の手順でインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の活用ガイドをご覧ください。

① **「**Microsoft® Office 2000 Personal**」**CD-ROM**で、**Office 2000 personal**をインストールする。**

「インストールの準備」画面が表示されたら、［カスタマイズ］をクリックしてください。さらに、「機能の選択」画面が表示されたら、「Microsoft Office」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから［マイ コンピュータから全て実行］をクリックしてください。

インストールが終了したら、画面の指示に従って本機を再起動してください。

② **再起動完了後、「**Bookshelf® Basic**」**CD-ROM**で、**Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic**をインストールする。**

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本体に手やひじをつくなどして力を加えないでください。本機の液晶ディスプレイはガラスでできています。力を加えると、ガラスが割れてしまいます。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が起きたときは、電源を入れずに約1時間放置してください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイの表面を濡れたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。
- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、

次のページにつづく

衝撃や振動、ほこりに弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

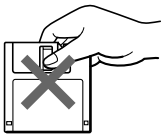
バックアップをとる

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windows 2000のヘルプをお読みください。

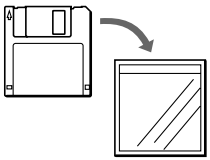
フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



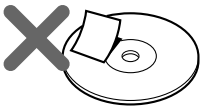
- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクはフロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。



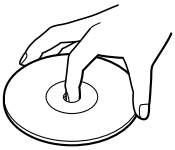
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないようにして持ちます。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

ACアダプタについて

- 本機には、付属のACアダプタをご使用ください。指定以外のACアダプタを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると…

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスク上の空き容量が急に小さくなる。

コンピュータウイルスを侵入させないために

- 見知らぬ人から送られてきた、またはネットワーク経由で入手した文書やプログラムなどのデータは必ずウイルスチェックをする。
- 本機にはコンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして、「VirusScan」ソフトウェアがインストールされています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。

次のページにつづく

- コンピュータウイルスはフロッピーディスクなどを介して広がることがありますので、他人のフロッピーディスクなどを使うときはご注意ください。フロッピーディスクなどのデータを共有する場合は、共有する人を限定してください。
- 新種のウイルスに対応するため、ウイルスに関するデータファイルは常に更新することをおすすめします。インターネット上で、下記のURLより最新のデータファイルを入手できます。
  http://www.nai.com/japan/
- ウイルスデータファイルの更新や「VirusScan」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧ください。

ウイルスが侵入して被害を受けてしまったときに備えて、日頃から作成した文書のバックアップをとる習慣をつけましょう。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

データのバックアップについて

ハードディスクドライブに保存している文書などのデータは、定期的にバックアップをとるようおすすめします。データの損失については、一切責任を負いかねます。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows 2000用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

DVD-ROMドライブの地域番号書き替えについて

工場出荷時、本機DVD-ROMドライブの地域番号（リージョンコード）は「2」（日本）に設定されています。Windows 2000および一部のソフトウェアには地域番号を書き替える機能がありますが、ご使用にならないでください。これらの機能を使用した結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

お手入れ

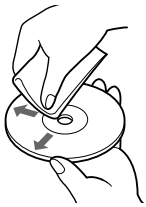
- 本機についたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。

ご注意

- 濡れたもので液晶ディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
  化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。ユーザー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、添付の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

次のページにつづく

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではノートブックコンピュータの修理は引取修理を行っています。
当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは添付の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。当社の修理により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではノートブックコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：IDラベル（17ページ）または保証書に記載されています**
- **製造番号：本体底面または保証書に記載されています**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

主な仕様

プロセッサ

Intel® Speed Step™テクノロジ対応
Pentium® III プロセッサ 650 MHz[1)]
[1)] ACアダプタ使用（最高パフォーマンス）時
バッテリ使用（最適化パフォーマンス）時は
500 MHz（工場出荷時）

キャッシュ（プロセッサに内蔵）
1次： 32 Kバイト
2次： 256 Kバイト

プロセッサシステムバスクロック
100 MHz

チップセット

Intel®440BX AGPセット

メインメモリ

64 Mバイト SODIMM（SDRAM）
最大256 Mバイトまで拡張可能

メモリバスクロック
100 MHz

メモリスロット

SODIMMスロット（2）
（標準メモリが1スロット使用）

グラフィックアクセラレータ

128 ビット高速グラフィックアクセラレータ
NeoMagic MagicMedia 256XL＋
（NM2380）AGP接続

ビデオメモリ

6.0 Mバイト（ビデオチップ内蔵）

液晶ディスプレイ

15.0 型、XGA対応、TFTカラー液晶

液晶ディスプレイ表示モード

1,024 × 768 ドット（約1,677万色[2)]）
800 × 600 ドット（約1,677万色[2)]）
640 × 480 ドット（約1,677万色[2)]）
[2)] グラフィックアクセラレータのディザリングにより実現

外部ディスプレイ表示モード

1,280 × 1,024 ドット（65,536色）
1,024 × 768 ドット（約1,677万色）
800 × 600 ドット（約1,677万色）
640 × 480 ドット（約1,677万色）

フロッピーディスクドライブ

3.5 型、1.44 Mバイト／720 Kバイト

ハードディスクドライブ

20.0 Gバイト[3)]
[3)] C:ドライブ 10.0 Gバイト
D:ドライブ 10.0 Gバイト（工場出荷時）
（1 Gバイト=10億 バイトで算出）

DVD-ROMドライブ

CD-ROM　最大24倍速
DVD-ROM　最大8倍速
マルチセッション対応、
12／8 cm対応トレイタイプ

次のページにつづく

外部接続

MONITORコネクタ
アナログRGB、ミニD-SUB15ピン（1）

PRINTERコネクタ
ECP、D-SUB25ピン（1）

MOUSE/KEYBOARDコネクタ
PS／2、ミニDIN6ピン（1）

SERIALコネクタ
RS-232C、D-SUB9ピン（1）

USBコネクタ
USB4ピン（2）

MIC入力コネクタ
モノラルミニジャック（1）

i.LINK（IEEE1394）コネクタ
S400 4ピン（1） S400=400 Mbps

ヘッドフォン出力コネクタ
ステレオミニジャック（1）

モデムコネクタ
モジュラジャック（1）

ポートリプリケーターコネクタ
専用コネクタ、132ピン（1）

インジケータ

- （パワー）ランプ
- （バッテリ）ランプ
- （ハードディスク）ランプ
- （Num Lock）ランプ
- （Caps Lock）ランプ
- （Scroll Lock）ランプ

PCカードスロット

Type III × 1またはType I／II × 2、
16 bit/CardBus対応

オーディオ機能

YAMAHA YMF744B-V AC97準拠
（PCI接続、オンボード）、ハードウェアMIDI
音源（XG/GM互換）、3Dサウンド機能、
ステレオスピーカー

内蔵ファックスモデム

V.90およびK56flex対応
データ受信時最大56 kbps
データ送信時最大33.6 kbps
ファックス送受信時最大14.4 kbps

ポインティングデバイス

インテリジェント タッチパッド

電源・その他

電源
ACアダプタまたはバッテリ

バッテリ駆動時間
約2～3時間[4)]
[4)] 最適化パフォーマンス時

動作温度
5 ℃～35 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

動作湿度
20 %～80 %（結露のないこと）
ただし35 ℃における湿度は65 %以下（湿球温度29 ℃以下）

保存温度
–20 ℃～60 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

保存湿度
10 %～90 %（結露のないこと）
ただし60 ℃における湿度は20 %以下（湿球温度35 ℃以下）

外形寸法
約 324.0 × 38.5[5)] × 265.5 mm
（幅／高さ／奥行き）
[5)] 最薄部

質量
約 3.5 kg
（バッテリ装着時）

ACアダプタ

電源
AC 100～240 V、50/60 Hz
（付属電源コードはAC100 V用）

消費電力
最大49.5 W

出力電圧・電流
最大19.5 V、2.15 A

動作温度
5 ℃～35 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

動作湿度
20 %～80 %（結露のないこと）
ただし35 ℃における湿度は65 %以下（湿球温度29 ℃以下）

保存温度
–20 ℃～60 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

保存湿度
10 %～90 %（結露のないこと）
ただし60 ℃における湿度は20 %以下（湿球温度35 ℃以下）

外形寸法
約60 × 30 × 125 mm（幅／高さ／奥行き）

質量
約 370 g

バッテリ

出力電圧・容量
14.8 V、2600 mAh

動作温度
5 ℃～35 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

動作湿度
20 %～80 %（結露のないこと）
ただし35 ℃における湿度は65 %以下（湿球温度29 ℃以下）

保存温度
–20 ℃～60 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

保存湿度
10 %～90 %（結露のないこと）
ただし60 ℃における湿度は20 %以下（湿球温度35 ℃以下）

外形寸法
約77 × 19 × 141 mm（幅／高さ／奥行き）

質量
約360 g

付属品

「付属品を確かめる」（12ページ）をご覧ください。

別売り品

ACアダプター
PCGA-AC19V

リチャージャブルバッテリーパック
PCGA-BP71

ポートリプリケーター
PCGA-PRF1A

メモリーモジュール
64 Mバイト増設メモリーモジュール
PCGA-MMX64
128 Mバイト増設メモリーモジュール
PCGA-MMX128

USBマウス
PCGA-UMS1/A

バイオ用カメラ
PCGA-VC1/A

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

付属ソフトウェアについて

本機には以下のソフトウェアが付属しています。
「付属ソフトウェア一覧」オンラインマニュアルでは、各ソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先などを説明しています。また、ソフトウェアの使いかたが分からなくなったときのために、各ソフトウェアにつき「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ソフトウェアに関するお問い合わせについて

それぞれのソフトウェアによってお問い合わせ先が異なります。
各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
特に指示のない場合は、VAIOカスタマーリンクへお問い合わせください。

ご注意

Windows 2000は、Windows 98などとは異なり、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中には、ある一定以上の権限をもつユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場合はシステム管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「Administrators」などの権限を与える設定にして作業をやり直してください。「Administrators」などの権限使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

ユーザーへの権利とアクセス許可は、そのユーザーが属するユーザーグループのグループメンバーシップによって決まります。詳しくは、付属の「クイック スタートガイド」の「ユーザーアカウントの作成」をご覧ください。

クリエーション

❑ Adobe PhotoDeluxe for **ファミリー**
画像を修正／加工するためのソフトウェア

お問い合わせ先：
アドビ システムズ株式会社　Adobe CustomerFirst ホットライン
電話番号：(03) 5350-8688
初回コールより90日間の無料サポート。以後は同社による有料サポートメニューが用意されています。

❑ DVgate
動静止画編集用にデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から動画や静止画を取り込むためのソフトウェア

❑ MovieShaker
取り込んだ動画を編集するためのソフトウェア

❑ PictureGear
静止画や動画を見たり、保管するためのソフトウェア

オーディオ＆ビジュアル

❑ Media Bar
音楽を聞いたり、映像を見たりするためのソフトウェア

❑ OpenMG Jukebox
ハードディスクに保存したデジタル音楽コンテンツを楽しむための
ソフトウェア

❑ QuickTime
動画を再生したり静止画を表示するためのソフトウェア
マルチプラットフォーム対応マルチメディア・アーキテクチャの業界標準です。

❑ RealPlayer
インターネットで配信されている動画を再生するためのソフトウェア

お問い合わせ先：リアルネットワークス株式会社　サポートセンター
電話番号：(03) 5466-1458

次のページにつづく

❑ YAMAHA MIDPLUG、YAMAHA XGplayer
ホームページ上にあるMIDIの音楽データを再生するためのソフトウェア

コミュニケーション

❑ DION**オンラインサインアッププログラム**
インターネット接続サービス「DION」に入会するためのソフトウェア
お問い合わせ先：DDIカスタマーサービスセンター
サービス内容に関するお問い合わせ
電話番号：(0077) -7192（無料）
接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号：(0077) -20227（有料、全国一律1分10円）
上記番号につながらない場合は
札幌（011）232-7012／東京（03）5351-9333（有料）

❑ Microsoft® Internet Explorer
インターネット用ブラウザ

❑ Netscape Communicator
インターネット用ブラウザ

❑ NEWEB**オンラインサインアップ用ソフトウェア**
インターネット接続サービス「NEWEB」に入会するためのソフトウェア
お問い合わせ先：KDDカスタマーサービスセンター　NEWEB担当
電話番号：(0070) 800-870415（無料）

❑ @nifty**でインターネット**
インターネット接続サービス「@nifty」に入会するためのソフトウェア
お問い合わせ先：ニフティ株式会社　@niftyサービスセンター
電話番号：(0120) 816-042（フリーダイヤル）
受付時間：9時～21時　年中無休

❑ ODN**スターターキットソフトウェア**
インターネット接続サービス「ODN」に入会するためのソフトウェア
お問い合わせ先：日本テレコム株式会社　ODNサポートセンター
電話番号：0088-86（無料）

❑ P'zDialer

ネットワークサービス「ぷらら」を利用するためのソフトウェア

お問い合わせ先：株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイアル」
電話番号：(03) 5954-5330

❑ Smart Capture

インターネット配信用にデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から動画や静止画を取り込むためのソフトウェア

❑ Smart Connect

i.LINKケーブルで接続したVAIO間でファイルを共有するためのソフトウェア

❑ Smart Connect**モニタ**

「Smart Connect」を使って接続しているコンピュータを一覧表示したり、データの転送状況を見るためのソフトウェア

❑ Smart Publisher

作成したデータをHTML形式で出力し、インターネットに送信するためのソフトウェア

❑ So-net**オンラインサインアップソフトウェア**

インターネットサービスプロバイダ「So-net」に入会するための
ソフトウェア

お問い合わせ先：So-netインフォメーションデスク
電話番号：(0570) 00-1414 (全国共通)
携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。
東京 (03) 3446-7555／名古屋 (052) 819-1300／
大阪 (06) 6577-4000／札幌 (011) 711-3765／
仙台 (022) 256-2221／広島 (082) 286-1286／
福岡 (092) 624-3910
受付時間：10時～18時　年中無休
ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスや電子メールでも承ります。
ファックス番号：(03) 3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp

次のページにつづく

❑ **VAIOネットワークサービスオンラインサインアップ**
VAIOカスタマー専用のインターネット接続サービス「VAIOネットワークサービス」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：
ソニースタイルドットコム・ジャパン（株）
VAIOネットワークサービスセンター
電話番号：(03) 5783-1133

❑ **さくらのブラウザバンキングサービス**
さくら銀行の各種サービス（照会や振込みなど）を利用するためのソフトウェア

お問い合わせ先：さくらテレホンダイレクト
電話番号：(0120) 506-390（フリーダイヤル）

❑ **さぱり**
インターネット上の仮想空間「さぱり」を楽しむためのソフトウェア

❑ **10円メールマスター**
10円メールを使うためのソフトウェア

お問い合わせ先：マスターネット株式会社　会員サポートダイヤル
電話番号：(0120) 526-900（フリーダイヤル）

❑ **マスターネットサインアップツール**
インターネット接続サービス「マスターネット」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：マスターネット株式会社　入会案内ダイヤル
電話番号：(0120) 526-988（フリーダイヤル）

リファレンスツール

❑ Adobe Acrobat Reader
本機や各ソフトウェアオンラインマニュアルなどのPDF形式の書類を画面上で読むためのソフトウェア

❑ Navin' You
付属のプロアトラス2000地図データを見たり、インターネットから店舗情報を検索したりするためのソフトウェア

❑ Roboword

英単語を和訳するためのソフトウェア

お問い合わせ先：株式会社テクノクラフト　Robowordユーザーサポート
電話番号：(03) 5821-1830

❑ **ハイパーダイヤ**

時刻表や運賃などを検索するためのソフトウェア

❑ **郵便番号検索ツール**

郵便番号から住所を検索したり、住所から郵便番号を検索するための
ソフトウェア

ステーショナリ

❑ Microsoft® Office 2000 Personal

Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic 2.0 からなる統合ソフトウェア

お問い合わせ先：マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号：東京 (03) 5354-4500／ 大阪 (06) 6245-8490
初回コールより90日間の無料サポート。以後は同社による有料サポート
メニューが用意されています。

❑ Smart Label

画像や音声を記録し、メモのようにデスクトップに貼り付けてメモの
ように使うためのソフトウェア

❑ Smart Write

文字や音声、画像を組み合わせて手軽に編集し、データを作成するため
のソフトウェア

ユーティリティ

❑ BatteryScope

バッテリの残量を確認するためのソフトウェア

❑ PowerPanel

本機の動作モードを切り替えるためのソフトウェア

次のページにつづく

❑ Sony Notebook Setup

本機の使用状況に合わせた動作環境をつくるためのソフトウェア

❑ UI Design Selector

ソニー製ソフトウェアのインターフェイスデザインを変更するための
ソフトウェア

❑ VAIO Action Setup

本機のプログラマブルパワーキーの働きやタイマーを設定するための
ソフトウェア

❑ VirusScan

コンピュータウイルスを検出／除去するためのソフトウェア

お問い合わせ先：

日本ネットワークアソシエイツ株式会社　テクニカルサポート

電話番号：(03) 5428-1101

❑ VisualFlow

“ メモリースティック ”に保存されている静止画、動画、音声のファイル
表示し、選択したファイルを他のソフトウェアで表示／再生するための
ソフトウェア

❑ **メモリースティックフォーマッタ**

“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）するためのソフトウェア

その他

❑ VAIO**オンラインカスタマー登録**

本機のカスタマー登録をするためのソフトウェア
カスタマー登録の手順について詳しくは、「カスタマー登録する／
インターネットに接続する」(30ページ）をご覧ください。

お問い合わせ先：ソニー株式会社 VAIOカスタマー専用デスク

電話番号：(03) 3584-6651

索引

五十音順

ア行

アプリケーション リカバリ CD-ROM 73, 75, 78
インターネットに接続する 30
液晶ディスプレイ 16, 57, 79
オンラインマニュアル 48, 49

カ行

キーボード 16
　キーボードショートカット 43
　使う 40
クリック
　ダブルクリック 39
　右クリック 39
結露 79
コンピュータウイルス 81

サ行

システム アイドルモード 45
システム サスペンドモード 44
システム ハイバネーションモード 45
システム リカバリ CD-ROM 73, 74, 78
シリアルコネクタ 19
スピーカー
　内蔵スピーカー 16
ソフトウェア
　不正コピー禁止について 82
　付属ソフトウェア 88
　Acrobat Reader 49
　Sony Notebook Setup 72
　VirusScan 81

タ行

タッチパッド
　クリックする 39
　スクロールする 39
　ダブルクリックする 39
　使う 38
　ドラッグアンドドロップする 39
　ドラッグする 39
　左ボタン 38
　右クリックする 39
　右ボタン 38
ダブルクリック 39
データのバックアップをとる 80, 82
ディスク
　お手入れ 82
　取り扱いについて 81
ディスプレイパネルを開く 23
テレホンコード 12
電源
　入れる 22
　切る 29
　コード 12
電話回線につなぐ 31
トーン式ダイヤル 33
ドラッグ 39
ドラッグアンドドロップ 39

ナ行

内蔵スピーカー 16
内蔵モデム 31, 62

ハ行

パーティションサイズを変更する 77
ハードディスク
　取り扱いについて 79
　パーティションを区切る 77
バックアップをとる 80, 82
バッテリ 12, 22
　バッテリベイ 17, 22
　ランプ 16
パルス式ダイヤル 33
パワーボタン 18, 23
左ボタン 38
プリンタコネクタ 19
プログラマブルパワーキー 18
フロッピーディスク
　ドライブ 18
　取り扱いについて 80
ヘルプ 50
ポインタ 38

マ行

右ボタン 38
メモリモジュール
　取り付ける 68
　取りはずす 71
メモリを増設する 68
モジュラジャック 19, 31
モデム 31, 62

ラ行

リカバリCD
　再セットアップする 73
　リカバリCDとは 73

次のページにつづく

アルファベット順

A

Acrobat Reader 49
ACアダプタ 12, 22, 81
AC電源 22

D

DVD-ROM
- DVD-ROMドライブ 18
- お手入れ 83
- 取り扱いについて 81
- 地域番号 82

F

Fnキー 44

I

i.LINK 17, 60
ISDN 6, 31

N

Num Lkキー 42

P

PBX 6, 31
PCカードスロット 17
PDF 48

S

Sony Notebook Setup 72

U

USBコネクタ 19

V

VirusScan 81

W

Windows 2000 ..... 24, 25

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”(“メモリースティック”) および MEMORY STICK™は、ソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は商標です。
- Microsoft、Windows、Outlook、Bookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentium、Celeronは、Intel Corporationの商標または登録商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- K56flexはConexant Systems, Inc.とLucent Technologies社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- Adobe®、Adobe® PhotoDeluxe®、Adobe® Acrobat® ReaderおよびAdobe® CustomerFirst™はAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」は、米国また諸各国において、米国 RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- Copyright © 1996-1999 YAMAHA CORPORATION All Rights Reserved.
- DIONは第二電電株式会社の登録商標です。
- Netscape、Netscape NavigatorおよびNetscapeのNロゴは、米国およびその他の諸国のNetscape Communications Corporation社の登録商標です。Netscapeのロゴ、Netscape Communicatorおよびその他の製品名とサービス名は、Netscape Communications Corporation社の商標です。（一部の国では、登録商標となっています。）Netscape Navigatorの著作権は、Netscape Communications社に帰属します。
- NEWEBはKDD株式会社の商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの商標です。
- 10円メールマスター、マスターネットサインアップツールはマスターネット株式会社の商標です。
- プロアトラスは株式会社アルプス社の商標です。
- ロボワードのロゴおよびロボワード、Roboword は、株式会社テクノクラフトの登録商標です。
- ハイパーダイヤは、（株）日立情報システムズの登録商標です。
- PowerPanel およびBatteryScope は米国フェニックス テクノロジーズ社の商標です。
- VirusScanは日本ネットワークアソシエイツ株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのパソコンに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

この説明書は再生紙を使用しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になった
リチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁
テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に
関する問い合わせ先：

財団法人電池工業会　TEL:03-3434-0261

ホームページ:http://www.baj.or.jp

Sony online http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

使い方のご相談、技術的なお問い合わせは
VAIOカスタマーリンクへ
● 0466-30-3000

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは
VAIOカスタマー専用デスクへ
● 03-3584-6651

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
● http://www.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページ
VAIOの最新サポート情報をご案内します。
● http://vcl.vaio.sony.co.jp/

お電話の前に、必ず付属の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

Printed in Japan